



岩手大学ビジョン 2030

岩手大学が2030年を見据え、目指すべき方向性を示すものとして『岩手大学ビジョン2030』を策定しました。岩手大学が「地域の知の府」、「知識創造の場」として存在し続けるためには、教育・研究・社会貢献の各領域において地域に頼られ、尊敬され、愛される大学（真に地域から求められる大学）であることが必要です。その実現に向けた具体的道筋は学生、教職員と共に考え、そして協力して創りあげるべきであるとの考えから『共考と協創（共に考え、協力して創る）』を行動規範に掲げ、岩手大学総体としてビジョン実現を目指したいと考えています。



岩手大学ビジョン2030では、「教育」、「研究」、「社会貢献」、「職場環境」、「大学経営」の5つの項目についてそれぞれ目標を掲げています。その中の教育目標は「グローバル化が進展する時代において「多文化共生社会」の実現に貢献し、予測不能な時代の諸課題に対応できる人材を育成する」としています。学生には、主体的な姿勢で学んで欲しいと願っていますし、今般のコロナ禍のような予測不能な時代の諸課題に柔軟に対応できる力（生きる力）を身に付けて欲しいと強く思っています。そのためには多文化共生社会へ対応するためのリテラシーとしての英語力や社会とのかかわりの中での実践的な学びも重要です。

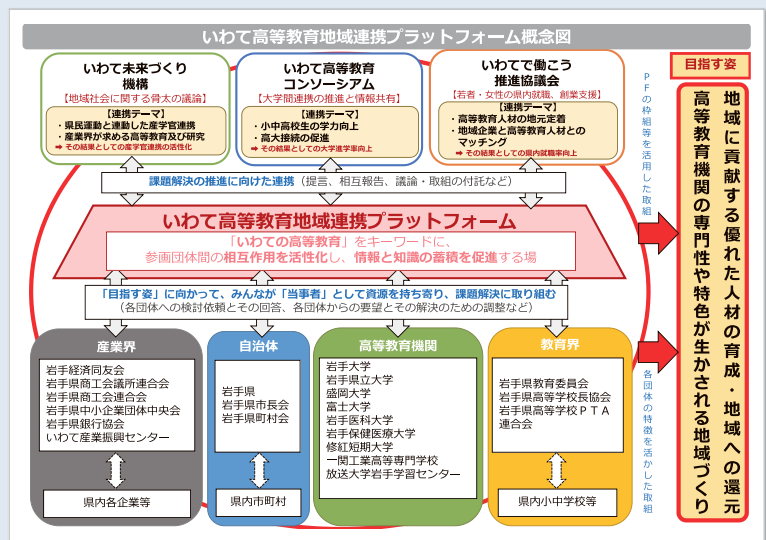
学生の主体的成長を促すため、多様な学習環境を整備するとともに学びのサポート体制充実を進めていきたいと考えていますので、卒業生・修了生の皆様におかれましては、岩手大学ビジョン2030の趣旨をご理解いただき、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いわて高等教育地域連携プラットフォーム

令和3年6月、岩手における地域課題の解決や、地域社会で高等教育が果たす役割について、中長期的な視点により議論する場として、いわて高等教育地域連携プラットフォームが設立されました。

いわて高等教育地域連携プラットフォームは、岩手大学を始めとする岩手県内全ての高等教育機関と、経済・産業団体、岩手県、岩手県教育委員会など21の団体で構成されています（事務局 岩手県ふるさと振興部）。「いわての高等教育」をキーワードに、「地域に貢献する優れた人材の育成・地域への還元」と「高等教育機関が持つ専門性や特色がより一層地域社会で活かされる地域づくり」を目指し、エビデンスに基づき、地域課題の共有を図りながら、組織間の相互作用を活性化し、各組織の目標達成に向けて議論する場となります。

既存の産学官連携組織である「いわて未来づくり機構」、「いわて高等教育コンソーシアム」及び「いわてで働こう推進協議会」とも、課題に応じた連携を図りながら、各参加団体の特徴を生かした効果的な取り組みを展開することを予定しています。



コロナ禍の学生支援

新型コロナウイルス感染症により学生を取り巻く環境にも大きな影響が出ています。本学における学生支援の取り組みとともに、いただいたご支援について紹介します。

【うえだめし】 ☆イーハトーヴ基金を活用

学生への経済支援として、併せて、地域商店街の活性化を図る取り組みとして「うえだめし」を実施し、地域商店街のお弁当を格安で販売しました。

【100円朝食・200円夕食】 ☆イーハトーヴ基金と日本学生支援機構補助金を活用

昨年に引き続き5月と7月に100円朝食を実施し、合計で約3,800食を提供しました。また、12月には学生からの要望に応え、学内に3か所ある学食で200円夕食を実施しました。

【奨学金】 ☆イーハトーヴ基金を活用

経済的支援を必要とし、かつ、学業優秀な学生に対し、修学・生活支援を目的とした奨学金を給付しました。なお、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、従来20名程度だった給付人数を40名程度に増やし、実施しました。

【電子マネーチャージ】 ☆イーハトーヴ基金を活用

新型コロナウイルス感染症による影響を勘案して、10,000円分もしくは5,000円分の大学生協電子マネーの配付を行いました。大学生協電子マネーは、構内の学食や購買での書籍等の購入に利用することが出来ます。

【地域の皆様からの支援】

本学の学生のために、地域の皆様から様々な支援をいただきました。

◎ JA新いわて様より

お米を寄贈いただき、新型コロナウイルス感染症の拡大で影響を受けた学生へ配付しました。

◎ 盛岡市社会福祉協議会様より

本学留学生に「広がれ！マスクの輪！みんなのマスクプロジェクト」で作られた手作りマスクを寄贈いただきました。

◎ JA全農いわて様より

学生の栄養面のサポートとして、県産食材（牛肉、豚肉、トマト、きゅうり）を寄贈いただきました。いただいた食材は、学食の地産地消フェアや100円朝食にて提供しました。



課外活動紹介 ～三陸委員会ここより～

三陸委員会ここよりは、三陸地域の課題解決を目標に活動をしている学生委員会です。震災を機にボランティアを目的として作られた委員会ですが、震災から10年が経ち震災との向き合い方が変化していく中で、今年度からコミュニティ・イベント・防災の三つの柱を中心に活動を始め、名前も変更しました。



「ここより」という名前には委員会の活動対象になる方達のところによりそって活動したいという思いや、新たにここより（ここから）スタートを切って活動をしていくという思いが込められています。現在は、災害公営住宅に住む内陸避難者との交流会や、三陸の商品の物販活動や震災を振り返るキャンドルナイトの実施、防災グッズであるパラコードを作るワークショップなど様々な活動を行っています。今後も、ボランティアに限らず私たち大学生ができることを幅広く考え、これからの三陸との向き合い方を模索していきます。

（取材者 学内カンパニー i-Connect 社員 澤口花咲）



同窓生のみなさんもお利用いただけます

卒業生・修了生のみなさんにもご利用いただける制度等をご紹介します。

キャリア支援

◎既卒者向け求人情報の閲覧

岩手大学では、卒業生・修了生の方にも求人情報を公開しています。「岩手大学就職ナビ」を利用してパソコンや携帯電話から閲覧ができます。なお、卒業生・修了生は利用登録が必要です。

◎キャリアカウンセリングの実施

卒業後に抱える仕事上での悩みや転職等のキャリアカウンセリングを実施しています。一緒に解決を導くための方法を考え、適切な就職支援機関等をご紹介します。

詳細はこちら

<https://www.iwate-u.ac.jp/career/alumni/index.html>



社会人学び直しプログラムによる地域貢献

岩手大学では、「地域社会に開かれた大学」の理念の基、生涯学習への取り組みとして、公開講座の他、様々な人材育成プログラムを開講し、市民の皆様へ学びの機会を提供しています。

詳細はこちら

<https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/community/lifelong/>



科目等履修生、研究生募集

岩手大学には、「在大学生とともに授業を受けて単位を修得する制度＝【科目等履修生】」や「正規の学部学生・研究科学生とは異なる身分で、特定の指導教員について研究を行うことができる制度＝【研究生】」があります。

◎科目等履修生

岩手大学が開講する授業科目を履修することができます。※受け入れ制限科目有り
入学は前期(4月)と後期(10月)のみとなり、科目を履修し修得した場合は、岩手大学が単位の取得を認めます。
前期(4月入学)は例年1月下旬頃、後期(10月入学)は例年7月下旬から8月上旬の出願受付となります。

◎研究生

岩手大学において特定の専門的事項の研究をすることができます。
研究生の受け入れについては、本学の研究または教育に支障がない場合に限り、出願にあたっては事前に研究の指導を受けたい教員の内諾が必要です。
前期又は1年間(4月入学)は例年1月下旬、後期(10月入学)は例年7月下旬から8月上旬の出願受付となります。

詳しくは岩手大学ホームページ

◎科目等履修生 <https://www.iwate-u.ac.jp/target/credit-auditor.html>

◎研究生 <https://www.iwate-u.ac.jp/target/research-student.html> をご覧ください。

卒業証明書等の発行

卒業証明書等の各種証明書を「オンライン申し込み(令和4年4月開始)」、「窓口申し込み」、「郵送申し込み」にて発行(有料)いたします。

詳細は、岩手大学ホームページ <https://www.iwate-u.ac.jp/target/certificate.html> をご覧ください。

岩手大学の教育・研究

『声楽』

教育学部 まいや たけひこ 米谷 毅彦 准教授

嘗て18歳で進学上京する迄生まれも育ちも盛岡出身の自分が、昨秋41年振りに故郷へ帰り岩手大学にて教鞭を執る事になりました。

此れ迄自身が国内は勿論ヨーロッパ各国の歌劇場やコンサートホールでオペラ歌手として体験して来た全てを、岩手大学の学生と共に楽しく学び乍ら伝えて行きたいと希っております。

教育学部音楽教育科では声楽実技の個人レッスンで25人の学生を指導する他、指揮法、合唱、ソルフェージュ等の専門技能から小学校音楽を始めとする教育科目の指導にも当たっています。

更に教養教育科目"芸術の世界"では他学部も併せて160人もの学生が集い、オペラと云う芸術をより身近に捉えるべく熱い講義を行なっています。

一方大学院の総合科学研究科"アート実践・応用特別演習"では、より踏み込んだ歌唱芸術の研鑽や楽曲分析を行なっています。

又"岩手文化発信論"では2006～12年の岩手県民オペラ芸術監督としての経験から、県内における歌劇の展開例を取り上げる事でマネジメントの実際や地元の舞台発展の未来も模索しています。

自らの舞台活動と並行しての大学教育活動は決して容易ではありませんが、岩手の若人達との学問及び研究の日々は益々刺激と悦びに満ちています。



米谷准教授の研究内容について、岩手大学公式YouTubeで紹介しています。また、その他の研究紹介動画もたくさん掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



定年退職教員の紹介

以下の先生方が令和4年3月31日をもって定年退職されます。長年にわたり教育・研究にご尽力いただきありがとうございました。

| 所属 | 職名 | 氏名 | 研究分野・キーワード |
|---------|-----|-------|---------------------------------|
| 人文社会科学部 | 教授 | 家井美千子 | 和歌、物語、文学研究史 |
| 人文社会科学部 | 教授 | 山本昭彦 | ボードレール、ユートピア思想、宮沢賢治 |
| 教育学部 | 教授 | 宇佐美公生 | カント哲学、自由論、道徳の基礎付け、正義論、応用倫理学 |
| 教育学部 | 准教授 | 田中成行 | 国語科教育、古典教育、震災教育、中世文学(謡曲)、宮沢賢治 |
| 理工学部 | 教授 | 恒川佳隆 | ディジタル信号処理、システム工学、計算機工学 |
| 農学部 | 教授 | 板垣匡 | 獣医寄生虫学 |
| 農学部 | 教授 | 井良沢道也 | 砂防、地すべり、斜面崩壊、森林水文、雪氷、緑化学 |
| 農学部 | 教授 | 上村松生 | 植物の寒冷適応分子機構、植物遺伝資源の長期保存 |
| 農学部 | 教授 | 宇塚雄次 | 伴侶動物神経病学、獣医臨床放射線学 |
| 農学部 | 教授 | 岡田啓司 | 生産獣医療学、家畜福祉学、牛、栄養診断、家畜衛生学、動物行動学 |
| 農学部 | 教授 | 立川史郎 | 林業生産工学 |
| 農学部 | 教授 | 松原和衛 | 動物科学、生殖免疫学 |

同窓会連合の活動状況

岩手大学の卒業生・修了生の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。このたび、小笠原義文前会長の後任として会長を仰せつかりました。大学との共催事業である「卒業生・修了生と学長との懇談会」は13回目を迎えました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、小川学長を始め大学の副学長や学部長の皆様、それに各学部の同窓会長のみが対面で参加し、懇談会の様子は大学公式YouTubeで配信しています。岩手大学の学生の中にはコロナ禍でアルバイト先をなくしたり、仕送りが滞っている学生もいます。今後も必要に応じて同窓会連合として支援を行っていきたく存じます。重ねてご支援、ご協力をお願い申し上げます。



会長 遠藤 隆

卒業生・修了生と学長との懇談会

令和3年9月18日(土)に、卒業生・修了生と学長との懇談会(第13回)を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して2年ぶりに行われました。

懇談会では、小川学長及び遠藤会長からの挨拶に続き、学長から大学の現状と主な取り組みについて、また、各学部長から学部の主な取り組みの状況等について説明がありました。その後、意見交換を行い、各同窓会長から挨拶と活動報告等がありました。懇談会の様子は本学公式YouTubeで配信をしていますので、ぜひご覧ください。



次の開催については決まり次第ホームページ(<https://alumni.iwate-u.ac.jp/>)でお知らせします。

令和2年度岩手大学同窓会連合 決算

【収入の部】(単位:円)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 差額 |
|---------|-----------|-----------|----|
| 会費収入 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 |
| 前年度の繰越金 | 1,973,989 | 1,973,989 | 0 |
| その他収入 | 23 | 17 | 6 |
| 計 | 3,174,012 | 3,174,006 | 6 |

[収入-支出=繰越額] 3,174,006 - 1,653,956 = 1,520,050

【支出の部】(単位:円)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 差額 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 事業費 | 1,690,000 | 1,651,752 | 38,248 |
| 会長活動経費 | 30,000 | 0 | 30,000 |
| 会議費 | 25,000 | 0 | 25,000 |
| 事務費 | 14,000 | 2,204 | 11,796 |
| 予備費 | 1,415,012 | 0 | 1,415,012 |
| 計 | 3,174,012 | 1,653,956 | 1,520,056 |

役員名簿

| 役員 | 会長 | 遠藤 隆 | 七友会会長 |
|-------|-------|----------|---------|
| | 副会長 | 小笠原義文 | 北桐会会長 |
| | | 小櫻 忠夫 | 一祐会会長 |
| 鈴木 幸一 | | 北水会会長 | |
| 監事 | 稲垣 秀悦 | 七友会 | |
| | 長内 努 | 北桐会 | |
| 理事会理事 | 会長 | 遠藤 隆 | (七友会会長) |
| | 副会長 | 小笠原義文 | (北桐会会長) |
| | | 小櫻 忠夫 | (一祐会会長) |
| | | 鈴木 幸一 | (北水会会長) |
| | 七友会理事 | 鈴木 護 | |
| | 北桐会理事 | 溝口 昭彦 | |
| | 一祐会理事 | 伊藤 歩 | |
| | 北水会理事 | 村上 賢二 | |
| | 岩手大学 | 小川 智 | 学長 |
| | | 藤代 博之 | 理事・副学長 |
| 横山 英信 | | 人文社会科学部長 | |
| 宇佐美公生 | | 教育学部長 | |
| 八代 仁 | | 理工学部長 | |
| 伊藤 菊一 | 農学部長 | | |

令和2年度事業報告

- ◎理事会(第22回)の開催
令和2年5月27日(火)～6月2日(火) メール会議
 - (1) 令和元年度事業報告について
 - (2) 令和元年度決算について
 - (3) 卒業生・修了生と学長との懇談会(第13回)について
 - (4) 令和2年度事業計画について
 - (5) 令和2年度予算について
- ◎運営委員会の開催
計2回開催(令和2年5月19日(火)、10月23日(金))
- ◎岩手大学イーハトーヴ基金への寄附
- ◎会報第12号の発行
- ◎ガンダイニングへの協賛
- ◎卒業式・修了式への支援

令和3年度事業計画と実施状況

- ◎理事会(第23回)の開催
令和3年5月24日(月)～5月28日(金) メール会議
- ◎運営委員会の開催
- ◎卒業生・修了生と学長との懇談会の開催
- ◎岩手大学イーハトーヴ基金への寄附
- ◎会報の発行
- ◎ガンダイニングへの協賛
- ◎卒業式・修了式への支援

七友会

人文社会科学部 同窓会

令和3年7月に七友会発足40周年記念大会を開催する予定で、準備の会合などを進めてきました。しかしながら、長引くコロナ禍の収束が見いだせないため、これを1年延期することとしました。またコロナ禍で困窮する学生のため、同窓会連合から岩手大学イーハトーヴ基金に寄附をすることに伴って、七友会からも支援学生に対する独自の支援金の支給をしました。今後も状況に応じて学生への支援を行います。七友会のホームページは「開店休業」状態だったため、業者に依頼してこれを一新し、岩手大学のホームページからもアクセスできるようにしました。他学部同窓会同様「卒業生の方」の欄からアクセスできます。来年に向けては、7月に40周年記念大会を開催するため、これに向けて仕切り直しの準備を進めるとともに、ホームページの充実、会員の消息確認を行って同窓会活動の活性化を図ることといたします。



北桐会

教育学部 同窓会

今年度も新型コロナウイルスの影響が続き、評議員会や理事会は対面での開催ができず、書面での表決を余儀なくされました。常任理事会も感染者が増えていた9月頃にはメールでの協議とならざるを得ない時期もありましたが、小笠原会長をはじめ皆さんの努力により活動を停滞させることなく進めてきました。

そんな重苦しい空気を払拭する嬉しいニュースがありました。北桐会員である高橋英輝さんが東京オリンピックに陸上男子20km競歩の日本代表選手として出場したことです。北桐会から激励費を贈呈しましたが、11月12日にその御礼と報告に来訪され、大会のエピソードや今後の目標などをお聞きすることができました。ますますのご活躍を期待しています。

また卒業記念に贈っているトートバックのデザインを一新しました。会員でデザイナーの鈴木駿一さんにより、喜んで使ってもらえる新鮮なデザインとなっています。



一祐会

理工学部 同窓会

《会員への情報提供》

令和3年3月に会誌「北杜」69号を発行しました。

《活動報告》

- ・新正会員への記念品(トートバック)を贈呈しました。
- ・理事会を令和3年4月28日(水)の18時より対面での短時間開催として実施しました。
- ・定期総会を新型コロナウイルス感染症対策のため書面表決で行うこととし、令和3年5月15日(土)の14時より議決結果の確認立会いを実施しました。
- ・岩手大学イーハトーヴ基金 理工学部「未来へのチャレンジ基金」へ寄附しました。



北水会

農学部 同窓会

《再延期の「北水会発足100周年記念式典・講演会・祝賀会」への取組状況》

100周年事業のメインとなる記念式典等は、新型コロナ禍を勘案し、来年7月に再延期のうえ、「農学部創立120周年」と合同開催の方向となりました。

1903年盛岡高等農林学校開学、1920年には同窓会則制定・同窓会報第1号発行以来、1世紀余りを共に歩んできた北水会と農学部は大きな節目を迎えています。

コロナ収束を祈りつつ、来たる7月1日(金)盛岡で再会しましょう！

① 式典・講演会及び祝賀会

日時／2022年7月1日(金) 午後1時半～午後7時(予定)

場所／ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

講演会：OB・OG3名のミニ講演と鼎談

復興祈念ミニコンサート：本学合唱団出演予定

祝賀会：本学さんさ踊り実行委員会出演予定

(ソーシャルディスタンスを保ちつつ、賑やかに)

② 既に実施済の記念事業

- ① 記念誌「同窓生が語る宮澤賢治」刊行
- ② 農学部発(初)の「リンゴ『はるか』誕生のモニュメント」建立
- ③ 『はるか』に関する展示パネル設置【本学ミュージアム内】
- ④ 「北水会と北水の池」案内板設置【「北水の池」北側】



復興祈念銀河ホールに 学生デザインの看板を設置しました

令和3年5月、復興祈念銀河ホールに看板を設置しました。看板のデザインは、本学の学生、教職員及び名誉教授から公募し、優秀賞及び理事特別賞に選ばれた2作品のものです。復興祈念銀河ホールは平成24年度の完成以降、国際シンポジウム等多くのイベントを開催してきましたが、看板、表示などがなく場所がわかりにくい状況でした。大学来訪者のみならず地域の方にも銀河ホールを周知するために、看板を設置いたしましたので、お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。



優秀賞：人文社会科学部 渡邊さくらさん



理事特別賞：理工学部 神坂優衣さん

(看板製作：理工学部高度試作加工センター)

岩手大学紹介テレビ番組 「ガンダイニング」 ～岩手大学同窓会連合も協賛しています～

「ガンダイニング」では、岩手大学における学生生活・研究活動・地域貢献活動やあまり知られていない魅力等を紹介しています。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため様々な活動に制限がある状況が続いていますが、教職員や学生は、前向きに力強く大学生活を送っています。そんな岩手大学の「いま」を現役学生リポーターが元気に紹介しています。

10月～12月の毎週火曜日18:55～IBC岩手放送で放送しています。



岩手大学ホームページや公式YouTubeで、過去の放送をご覧ください。ぜひご覧ください。



岩手大学イーハトーヴ基金のご案内

「岩手大学イーハトーヴ基金」は、本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生や新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮する学生たちへの支援など、用途を特定した「特定基金」で構成されます。

岩手大学同窓会連合からもイーハトーヴ基金の特定事業修学支援事業基金に寄附をし、給付型奨学金等として活用されました。

最新の特定基金情報、寄附の申込・払込方法については、イーハトーヴ基金ホームページをご覧ください。

【岩手大学イーハトーヴ基金ホームページ】

<https://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>

●お問い合わせ先

岩手大学法人運営部基金室

TEL.019-621-6091

FAX.019-621-6014

(平日：午前9時～午後5時)



岩手大学公式ソーシャルメディアのご案内

岩手大学では、Twitter、YouTube等を更新中！岩手大学のニュース・イベント情報、日々の出来事やガンダイニング等の動画を掲載しています。ぜひ覗いてみてください。

▶岩手大学公式 Twitter NEW!

https://twitter.com/Iwate_Univ_PR



▶岩手大学公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwK1aOA>

▶岩手大学ソーシャルメディア 公式アカウント一覧

<https://www.iwate-u.ac.jp/about/public/sns.html>



編集後記

新型コロナウイルス感染症が国内で発生してから2年目、新たな基本ルール「マスク着用」「3密を避ける」「手指の消毒」などはしっかりと学生たちに根付いたようです。急遽取り入れられたインターネットによる遠隔講義は録画もでき回覧的学習も可能なことから学習効果という点では評価される面もありました。一方で、学生がいない大学って何だろうと考えさせられました。同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。(KM)

岩手大学同窓会連合会報 No.13

2021.12 発行

発行事務局

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

TEL.019-621-6015

FAX.019-621-6014

E-mail:dosokai@iwate-u.ac.jp

URL:<https://alumni.iwate-u.ac.jp/>